

ガンマ・ソフトウェア

『IPTA(Interferometric Point Target Analysis)』

(干渉ポイントターゲット解析ソフトウェア) カタログ

I P T A(アイピーティイーエーまたはイプタ)パッケージは、ポイントターゲットから得られるレーダー干渉の信号の時間的・空間的な特徴を利用して、地表面の変位ヒストリや標高、相対的な大気中経路遅延を精度良くマッピングするためのツール(コマンド)群です。観測された干渉位相への最適マッチングを実現するために、モデルパラメーターの反復改良を行なうことができます。解析はポイントターゲットの候補となる、選択したポイントリストに対して行なわれます。2次元面データの代わりに、ポイントを使うことによってデータサイズや処理効率が劇的に改善します。

ポイントターゲットを使うことの利点は、従来の面的に分布するターゲットと違い、形状に由来する無相関(スペックル)が存在しない点です。そのためデータの利用価値が増し、非常に長いベースラインを持ったS A R画像のペアでさえ解析でき、結果の正確さも改善し、対象とする時間幅も広がります。I P T Aの重要な要素は、時

間の次元に対しても、スタックされたデータの束を解析できる点です。

I P T Aは他のガンマ社のソフトウェアパッケージと完全に互換です。同一の位相モデルを採用しており、ラスタとベクターのデータ形式の間で変換を行なうプログラムが含まれています。したがって、従来のS A R干渉技法と組み合わせてI P T Aを使うことができ、2つの技法を組み合わせて使った場合の威力は極めて相乗的です。

株式会社オープン・ジー・アイ・エス

〒130-0001 東京都墨田区吾妻橋 1-19-14

電話 (03) 3623-2851

FAX (03) 3623-3025